

ベトナムの果樹産業

中央果実基金・海外果樹農業情報No.65

1 生産の状況

ベトナムにおいては、果実生産は、主として果樹が成育期で、まだ最大生産レベルに達していない。成長が目立つ果実は、レイシ、リュウガン、柑橘類およびマンゴーであり、これらはベトナム産果実にとって重要な輸出市場である中国からの大きい需要を含めて、市場潜在力が大きい。反面、バナナおよびパイナップルは、旧ソ連と東欧においてこれら果実の市場が崩壊したので、成長が鈍化した。

1997年の概算によれば、果樹栽培面積は約42万6千haであった。その大部分が家庭園で、1戸当たり平均0.5~2.0haである。集中した果樹園の面積は、7万ha(16%)に過ぎない。1989年の経済自由化の後、果樹栽培面積は10万ha以上増加した。増大の大部分が、メコンデルタ区、北部高原区およびメコンデルタ東北区

で起こった。特に、メコンデルタ地区は、果実の最大の産地である(20万ha強あり、生産量では60%を占める)。

果実全体の生産量は、1990年の240万tから、1997年には380万tに達した。このうち最も多いのはバナナの130万tであるが、生産は停滞し、比重は低くなりつつある。次は成長の著しい柑橘類で約40万t、次いでパイナップルである(表1)。

数多くの種類の果樹が栽培されているが、大概は低級品であるため輸出の機会を限定している。

振興計画では、栽培面積を現行(2000年)の55万3千haから、2005年には83万5千haに、2010年にはさらに107万haにまで拡大することとしている。また、これに伴い、生産の集中していたメコンデルタ区以外の地区の生産を一層拡大することによって、メコンデルタ地区の比

表1 主要果樹別栽培面積、生産量

種 類 別	1997年実績		2010年計画	
	栽培面積(千ha)	生産量(千t)	栽培面積(千ha)	生産量(千t)
バ ナ ナ	92.4	1,315.7	150	2,700
柑 橘 類	59.5	379.4	200	1,800
ドラゴンフルーツ	2.5	20.0	20	310
ぶ ど う	2.5	40.0		
マ ン ゴ ー	32.7	158.2	150	1,200
パイナップル	27.1	208.8	50	750
レイシ・リュウガン	25.0	60.0	200	1,400
ランブータン	8.0	48.0	50	475

率は相対的に低下する計画となっている。特に、北部高原区の栽培面積は、メコンデルタ区を上回るようになっている。

2 用途別消費動向

ベトナムの果実生産は発展の過程にあり、生産量は着実に増加しているが、いまだほとんどが国内消費に回されている。この結果、1人当たり国内消費量も年々増加を示している(表2)。

加工については、生産量のわずか1.7%と推定されている。加工品の種類には、ジュース、缶詰、乾果、酢漬けなどがある。しかし、果実部門の主要輸出産品であるパインアップルでは、加工比率が28%である(表3)。

3 輸出動向

1997年に、推定3万8千tの生果実および加工品が輸出された。このうち約1万t(主にマンゴーとレイシ)が中国向けであった。

輸出対象国は40か国に及ぶが、総売上高は

7,000万米ドルにとどまり、タイなどのような類似の自然条件を備える地域のライバルに比較して極めて少ない。注目に値する輸出果実には、欧州とシンガポール向けマンゴーおよびランブータン、中国向け生鮮および乾燥リュウガン、香港およびシンガポール向けのドラゴンフルーツ、米国および欧州向けの生鮮および加工パインアップル(ジュース)が挙げられる。バナナの輸出量は、かつての主要市場(旧ソ連および東欧)向けが大きく減少したため、過去より減少している。

なお、輸出計画はかなり野心的なものとなっている。例えばバナナは、1997年の輸出量が3,969tであるのに対して、2010年には50千t、パインアップルは同601tから25千tへ、マンゴーは1,842tから20千tへと、それぞれ増加を計画している。このほか、2000年の目標輸出量は、ドラゴンフルーツ20千t、レイシ・リュウガン20千t、柑橘類30千t、缶詰めパインアップル50千tなどとなっている。

表2 果実の生産および消費の動向

(単位;千t)

	1990	1995	1996	1997	1998	1999
果実全体生産量	2,493	3,117	3,463	3,835	4,292	4,464
うち柑橘類	119	379	492	405	379	405
バナナ	1,239	1,282	1,263	1,316	1,315	1,242
パインアップル	468	185	201	219	239	262
マンゴー	173	153	161	169	178	189
ドラゴンフルーツ	不明	19.6	21.2	27.6	35.9	33.4
損耗(推定)	624	779	866	959	1,073	1,116
国内消費量(全体)	1,788	2,703	2,703	3,008	3,095	3,530
1人当たり消費量(kg/年)	27	34	37	41	41	46

表3 果実の仕向け別割合(1998年)

	生産量(千t)	加工割合(%)	輸出割合(%)
全果実	4,292	1.7	0.51
パインアップル	250	27.6	5.20